



トヨタは、気候変動、水不足、資源枯渇、生物多様性の損失など、地球環境の問題に対し、これまでも広く取り組んできました。今後も環境への取り組みを通じて、SDGsの実現に貢献します。

<https://global.toyota/jp/sustainability/esg/environmental-policy/>



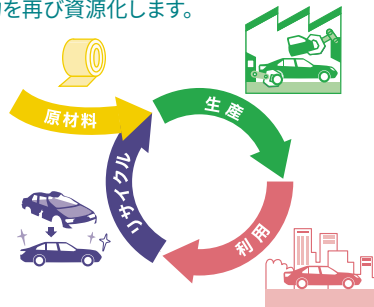
■ カーボンニュートラルの実現

トヨタは、「カーボンニュートラル」の実現のために、「つくる」「はこぶ」「つかう」「廃棄・リサイクル」など、クルマの一生を通して、CO₂排出量を削減する取り組みを進めます。



■ 究極の循環型社会をめざして

トヨタでは、廃棄物を減らし、再利用可能なものは繰り返し使用し、さらに廃棄物を再び資源化します。



■ 人と自然が共生するために

トヨタは、水使用による環境負荷を小さくするとともに、生物の多様性を取り戻すために、自然保全活動の輪を地域・世界とつなぎ、そして未来へつなぐ活動を進めます。



トヨタコースター環境仕様

車両型式	2WG-GDB100 2WG-GDB110 2WG-GDB120	2WG-GDB100 2WG-GDB110 2WG-GDB120	2WG-GDB100V 2WG-GDB110V	2WG-GDB100V 2WG-GDB110V
エンジン型式	3GD	3GD (高出力)	3GD	3GD (高出力)
CO ₂ 排出量*1	270	270	191	191
排出ガス	認定レベルまたは適合規制 (国土交通省)	平成28年 (ポスト・ポスト新長期) 排出ガス規制		
	認定レベル値または適合規制値	2.22/0.17/0.4		
	WHTC及びWHSCモード	0.010 (6.0×10 ⁻¹¹)		
車外騒音	規制区分	平成28年騒音規制M3A2A		平成28年騒音規制N2A2A
	加速(規制値)/定常/近接	74/-/77	74/-/77	75/-/78
冷媒の種類 (GWP値*2) / 使用量	(g)	HFC-134a (1430*3) / 1,500(PREMIUM CABIN / EX / GX) / 1,800(LX / 幼児専用車)		
環境負荷物質削減	鉛	自工会2006年自主目標達成 (1996年比1/4以下*4)		
	水銀	自工会自主目標達成 (2005年1月以降使用禁止*5)		
	カドミウム	自工会自主目標達成 (2007年1月以降使用禁止)		
	六価クロム	自工会自主目標達成 (2008年1月以降使用禁止)		
車室内VOC*6		自工会目標達成 (厚生労働省室内濃度指針値以下)		
環境負荷物質使用状況等	鉛	電子基板・電気部品のはんだ、圧電素子 (PZTセンサー) 等に使用 / 鉛廃止済み部品: 電着塗料、燃料ホース、パワステ高圧ホース、ホイールバルンサー、電球と点火プラグ、塩ビ・ゴム部品、バルブシート、軸受けなど		
	水銀	水銀廃止済み部品: コンビネーションメーター		
	六価クロム	六価クロムの使用無し / 六価クロム廃止済み部品: 金属部品類やボルト・ナット類の防錆目的コーティング他		
	カドミウム	カドミウムの使用無し / カドミウム廃止済み部品: 電気・電子部品のICチップ基板、厚膜ペースト他		
リサイクル関係	リサイクルしやすい材料を使用した部品	バンパーカバー・インストルメントパネル・その他内装材		
	樹脂、ゴム部品への材料表示	あり		
	リサイクル材の使用	ダッシュサイレンサー等		

*1. 燃料消費率は主要諸元表をご覧ください *2. GWP Global Warming Potential (地球温暖化係数) *3. フロン法において、バス用エアコン冷媒は、2029年度以降、環境影響度を製造者等ごとに出荷台数で加重平均した値が目標値150を上回らないことが求められています。HFC134aは廃棄時には冷媒を回収することが義務付けられており、大気放出は禁止されています。

*4. 1996年乗用車の業界平均1,850g (リサイクル回収ルートが確立されているため鉛バッテリーを除く) *5. ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージヘッドランプ、室内蛍光灯 (交通安全上必須な部品の極微量使用を除外) *6. VOC: Volatile Organic Compounds